

# 2025 年秋 看護管理学会倫理委員会研修会 アンケート結果報告書

報告日: 2025 年 11 月 23 日

## 1. 調査概要

調査期間	2025 年 11 月 22 日 ~ 2025 年 11 月 23 日
総回答数	263 件
調査方法	フォームによるオンラインアンケート

## 2. アンケート結果

質問 1: 2. 日本看護管理学会の会員ですか

有効回答数: 263 件

回答	件数	割合
会員	158	60.1%
非会員	105	39.9%

質問 2: 3. 所蔵施設についてお答えください。

有効回答数: 263 件

回答	件数	割合
病院	232	88.2%
その他	11	4.2%
教育機関	9	3.4%
在宅領域	8	3.0%
介護施設	3	1.1%

### 質問 3: 4. 職位についてお答えください。

有効回答数: 263 件

回答	件数	割合
看護師長	91	34.6%
副看護部長	62	23.6%
看護部長	49	18.6%
その他	31	11.8%
主任	20	7.6%
教員	7	2.7%
事業所管理者	2	0.8%
学生	1	0.4%

### 質問 4: 5. 今回このセミナーに参加されたきっかけについて教えてください。

有効回答数: 236 件

#### 【自由記述回答（一部抜粋）】

1. 外来におけるペイハラへの対応について困ることがあるため
2. 患者からの暴力に対する対応など参考にしたいと思った
3. 日本看護管理学会ホームページ
4. 他施設の看護部長より教えていただいた
5. ハラスメント対策について現在見直しをしているところで、何か参考になればと思いました。
6. 実際に問題があったため
7. ハラスメント対策を学び、日々の業務で活用したいと考えた
8. ポスターを見て
9. ハラスメントについて関心があるため
10. 上司からのすすめであったが、訪問看護を行っている中で対応について知っておかなければいけないと思ったから

(以下、226 件の回答は省略)

**質問 5: 6. 自施設でカスハラ対策をする上での課題や今後に向けてヒントなど得られたことがあれば教えてください。**

**有効回答数: 211 件**

**【自由記述回答（一部抜粋）】**

1. ロールプレイングなどを取り入れて、ペイハラに対する正しい知識と対応について周知していく必要がある。
2. ポスターを貼る、組織として対応する
3. 自施設内の基準や対応の規定を定める。
4. マニュアルの整備、暴力の KYT の実施、カスタマーハラスメント報告書の導入、などと、患者暴力に繋がらないコミュニケーション技術の獲得を目指したい
5. 患者さんにも理解してもらえるような工夫が必要だと思いました。
6. 自分たちで調べていたが、その確認になりました。
7. 医療者が我慢していた部分があったが、許さずに毅然とした態度で臨む、ハラスメント患者を育てないといった内容が印象に残った
8. モンスターペイシャントを育てていないか、という視点が新鮮であった
9. 医療者側にも問題がある場合も多いかと思います。態度や話し方、その方だけでなく周りの方々への影響など、考えて自分達の行動や普段の対応を見直していかなければならないと思います。相手の立場に立つこと、お互いに穏やかにいられるように、自分にできることを考えていきたいと思います。
10. 暴力の KYT 研修は参考になった。もう少し詳しく聞きたかった

(以下、201 件の回答は省略)

**質問 6: 7. 当企画の満足度について教えてください。**

**有効回答数: 263 件**

回答	件数	割合
満足	174	66.2%

やや満足	86	32.7%
やや不満	3	1.1%

## 質問 7: 8. 上記満足度の理由を教えてください。

有効回答数: 194 件

### 【自由記述回答（一部抜粋）】

1. 患者の立場からの意見が、大変参考になった。
2. 患者からの暴力は職員間で情報共有をしていたが具体的な対策まで、できていなかった。今回の研修会の内容を取り入れたいと思った
3. 実際にあった対応について当事者から講義を聞くことができ、概念と合わせて学ぶことができました。明日から実践できる内容でした。
4. 患者さん側のお話がとても参考になりました ありがとうございます！
5. 管理面の具体的な内容について、より詳しく知りたかったです。
6. とても分かりやすく参加して良かった。資料が欲しかった。
7. 十分参考になる内容であった
8. 患者さんの立場からの話を聞いたことがよかったです。
9. 当事者になったスタッフへの対応の仕方です 2次被害になる可能性があり、そうならないための注意点が参考になった。
10. 当院で5に記載した事例があり、その時の対応について上司とも意見が食い違いがあったのですが研修を聞いて自分の考えを整理したり、自分の提示した考えを肯定できたこともあります。また、カスハラではありませんが、ちょうど同じ時期に当院では職員が職員に対する暴力行為が発生し対応しておりました。カスハラと職員によるもので異なるかもしれませんが暴力行為に対する考え方は、同じだとか認識できたので満足しております。

(以下、184 件の回答は省略)

質問 8: 9. 今後研修で取り上げてほしいテーマについて、最も希望するテーマを下記より最大3つ選択してください。(複数回答可)

有効回答数: 263 件

総選択数: 670 回 (複数回答可)

選択肢	選択数	割合
10_看護実践に関する倫理的ジレンマと解決策	84	31.9%
11_その他	2	0.8%
1_看護職の倫理綱領 16 項目	49	18.6%
2_生命倫理の 4 原則 (自律尊重原則、善行原則、無危害原則、正義原則)	42	16.0%
3_臨床倫理の 4 分割法 (医学的適応、患者の傾向、QOL、周囲の状況)	65	24.7%
4_看護職のウェルビーイング	105	39.9%
5_組織倫理に関すること	101	38.4%
6_倫理コンサルテーション	50	19.0%
7_内部通報の仕組みづくり	60	22.8%
8_終末期ケアと尊厳死に関する倫理的考察	67	25.5%
9_プライバシー保護と情報管理における倫理的視点	45	17.1%

質問 9: 10. 上記 9、11 を選択した場合は、取り上げてほしいテーマについて教えてください。

有効回答数: 17 件

【自由記述回答 (全件)】

1. 興味がある
2. 地域連携・継続看護をするうえでの個人情報管理。

3. 虐待などの受診時に非常にプライバシーに深く関連する情報を記載することがあります。医者だけに、ソーシャルワーカーだけに言うなどと秘匿を求められる場合があります。カルテ記載はどのように行うのが正しいのか、また書いたとしても他者に広がらないよう注意を払うことができるのか方法があるか知りたいです。
4. 身体拘束と安全管理で悩むことが多くあるので学んでみたいと思いました。
5. 再度基本に立ち返りたい。その後、DX を取り入れた管理を学びたいです
6. 情報管理の具体的方法
7. 意思決定支援の上で、終末期の概念が一般化されておらず支援が難しい事例がある。
8. 社会情勢が複雑化しているように感じるため
9. 特になし
10. 個人情報漏洩に関すること（書類の取り違えが多く発生している。国への報告の基準などを知りたい）
11. 当院でも通報できるが利用しにくい環境になっているのではないかと思ったため。勉強になりました。次年度も参加できたらと思います。
12. おひとり様、独居の高齢者等が意思決定できなくなった時のケアの在り方 倫理的考察に悩む場面も増えています。
13. 看護師として、幸せに生きがいを感じながら働ける そんな職場を作っていきたいから
14. 終末期の家族の希望と患者の望み
15. 仕事上のメールの送信時間のルールについて
- 16.
17. 患者の尊厳を大切に対応できるスタッフを育成したい

### 3. まとめ

本研修会には 263 名の方からアンケート回答をいただきました。多くの貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。今後の研修会の企画・運営に活かしてまいります。